

平成25年度西宮文学案内

春講座 第1回「手塚治虫と黒岩重吾～西宮の郊外学校で過ごした少年時代～」

日時：2013年5月25日（土）14時から

場所：西宮市立越木岩公民館 講堂

講師：飯塚 修三（眼科医）

飯塚

皆さんこんにちは。非常に緊張しています。スライドが150枚ほどあるので、何とか到達したいと思います。

この方、ご存知ですか？ 東大の教授です。吉川英治賞には文学賞・文学新人賞・文化賞があり、文化賞をこの方が受賞しています。福島智さん、1962年の生まれ。

ピコピコやっているでしょ。これが指点字です。光も音もない状態です。皆さん一度、耳をおさえて目をつぶってください。これが無の状態です。目をつぶったまま右手の指を左でポンポンと押してください。もちろん耳は聞こえない状態のままですけど、こういうことによってコミュニケーションを取ろうと、福島さんのお母さんが考えられた。このお母さんと縁があって、私の「いづか眼科」に来られています。いろいろ話したのですが、お母さんの力は偉大ですね。子供を東大にやるというよりも、コミュニケーションをどうやって取ろうかということいろいろ試行錯誤されて、指点字を発明されたんです。点字というと6個の点があるんです。3つと3つの点で上から押さえる、色々使い分けて意志を疎通しています。最初のときに「智、わかるか」「わかるで」とコミュニケーションが取れたということ漫画にしています。先週の土曜日の4チャンネル、報道特集を見られましたか？ 盲ろう者が日本で2万人いるという話です。なんとかこういう方法で皆さんがコミュニケーションが取れたらなと思いました。

本題に入って、手塚治虫を皆さんご存知ですね。この方は60歳で亡くなっているんです。60代というと、ちょっとかわいそうだとは思われませんか？おそらくピロリ菌による胃がんだと思います。黒岩重吾は79歳、ちょうど男性の平均寿命ですね。今朝8時半から8チャンネルで水木しげるさんを見られた方ありますか？91歳でまだお元気です。手塚治虫さんも御存命なら今、84、85歳、いろんな作品を残していただけだと思います。

先週の日曜に、手塚治虫さんの幻の原画を松本零士さんが発見されたと読売新聞に出ていました。まだまだ手塚人気は強いですね。池田附属小学校を卒業して北野中学へ入り、北野中学から一里山健民修練所へ送られたんです。彼の遺作『ガラスの地球を救え』という文庫本の中で「ぼくのように体力のない弱い子たちは、国民体育訓練所という一種のラゲリ（強制収容所）に入れられた」。つまり、お国のために役立つ少年にするということで、一年間みっちり体力をつけるために、ぶち込まれたというわけです。ここは周りが二重に鉄条網に囲まれていて、入ったらもう出られません。ところが体力をつけるどころか

豆かすみたいな食べ物ばかりで、毎日朝から晩まで軍事訓練、とうとう僕は耐えかねて、四ヶ月目に座布団五枚で鉄条網をはさんで、くぐり抜け、家に逃げ帰ったんです。『真夜中にどンドン戸を叩いてやっと家に入ったぼくの顔を見たおふくろは「まあ、ぞっとした」とあとで言いました。青い顔して幽霊のようにやせこけて、半分死んだ状態なので、誰だろうとよく見たら、うちの息子だった、というわけです。その夜は、もう無我夢中で、三食ぐらいも食べさせてもらって、おふくろに握り飯を作ってもらって、またこっそり訓練所に帰って、友達に食べさせたのです』

昭和19年8月、厚生省は全国170数か所に健民修練所を設立し、筋骨薄弱者、結核、要注意者を対象者として2万人を収容しました。厚生省の推進する健康な強い兵士は健康な強い国民から生まれるという健兵県民政策の一環でした。体力のなかった手塚治虫は、兵庫県西宮仁川にある会社の保養所に設立された健民修練所に入れられました。ところが手塚治虫は以前に打った注射がもとで、両腕の皮膚がめくれる皮膚病にかかり、数日ほどで家に帰され、自宅療養しています。手塚治虫はこのときの闘病体験がもとになって、大阪大学付属病院医学専門部に進むことを考えたんですね。自伝の中では、予科練にいかないと薦められたのを断ったから修練所に送られたと書いています。そんな時代だったんでしょうけど、昭和19年といたら敗戦濃い時代ですね。そのことを『紙の砦』という漫画に書いています。軍人の靴にはさまれて「ぎゃ」と、デフォルメしているんですけど。

一里山修練所がどこにあるのか探してみました。三島佑一さん。この人も手塚治虫と同じ1928年に生まれた人で、『昭和の戦争と少年少女の日記』という自分の日記を書いておられます。一里山健民修練所は大阪府がやっていた。100名収容したという話ですけど、みなさんこの写真を見て、どう思われます？ みんなガリガリ、栄養が足りてないですね。こんな中で本土決戦を叫んだとしても、とてもじゃないけど無理ですね。場所は、阪急甲東園から仁川のほうへ行きまして、仁川口橋の近く、川端にあります。宝塚からも西宮からも一里のところにあるというので一里山と名付けられたらしいです。昨日、一里山の人が来られて「なんで山をつけたんやろう。一里塚でもええやないか」と。全然山がないのに一里山と名前がついています。その由来は私にはよく分かりません。今は老人ホームになっていますが、老朽化で建て替えになって施設は廃止されるんです。

西宮に海軍航空隊があったのを御存知の方おられますか？ 2人おられますね。これは西宮市史に書いてない。関学のグラウンドに訓練飛行場があったんです。数年前までOBが8月15日にここで慰霊祭をやっていました。神戸女学院も実は軍隊に接收されています。これもみなさん御存知じゃないと思います。おそらく女学院の歴史に書いてないと思うんです。私は川西航空機の出身で、川西航空機の新名は新明和工業となっています。新明和工業の病院、明和病院で14年間勤務させてもらいました。川西航空機にもものすごく愛着があります。満地谷の墓地にあります海江田信武の碑、こんなん聞いたことないでしょ。私もこの間知ったんですけど。リンドバーグが大西洋を横断したら今度は日本が太平洋を横断しようと川西航空機がプロジェクトチームを作った。ところがいろんな問題があ

って最終的に陸軍の反対によってつぶれました。本当に出来たか分かりませんが、川西航空機もそのときは国威発揚で頑張っていたんですけど、残念ながら出来ませんでした。

今日来られた患者さんで黒岩重吾さんに3回ほど会われた方がいました。黒岩さんは、風合いのある方だとおっしゃっていました。ものすごく苦勞しているんですね。1924年生まれ。手塚治虫と5年ほどしか違いません。ところがこの5年というのが大きい。黒岩さんは兵隊に取られて満州国へ行っていました。手塚治虫は大阪の空襲で逃げ回るばかりですね。その5年というのが人生を分けるというか。苦樂園・甲東園の人にお話を聞いてまとめないといけないんですけど、なかなか現地を見る機会がなくて、今は立ち入り禁止とか個人家の敷地とかで調査していません。

『背徳のメス』で直木賞を受賞し、晩年は古代史小説の書き手となり、最後の住宅は苦樂園でした。ちょうど10年前に亡くなりました。お葬式に行きましたら、すごい人でした。私は斎場に入れなくて、2階のビデオの間でビデオを見せてもらいました。

大阪市は戦前、身体の虚弱な児童を環境のいいところで快復させるための郊外学園を4カ所に設置しました。ここは手塚治虫のように兵隊になるための訓練とは違う。黒岩さんは小学校5年のとき、ものすごくいい思い出をもっています。だからお年をめしてから苦樂園に居を構えられたんですね。先生もいい先生がおられたと思うんです。

三島佑一さんの『黒岩重吾・病との戦い』から抜粋しますと、月足らずで絶対に育たないと太鼓判を押された。カニ取りに行つて安治川に落ちた。1924年。安治川六軒町、六軒町というのは日本中どこでもありますね、西宮にもありますけれど、五軒とか七軒はないけれど、なんでしょうかね。六地蔵か何かの加減ですかね。21歳の時に関東軍に所属、終戦後脱走兵みたいになって密輸船で帰つてこられたらしいです。奥さんにお聞きすると、そのときの話はあまり話したとらないと。大変な目に遭われたんだと推測します。29歳のとき小児麻痺、ポリオですね。これが一番ピンチ。以後3年の入院生活、スターリンショックがありまして、言葉も発せられなくて自分の意思も伝えられなくて、退院したときには、すっからかん。家屋敷を売って借家暮らしになっています。もう一度再起を期するんだと言って、釜ヶ崎でトランプ占い。それからキャバレー勤めとかいろいろとやられた。やっぱり小説家はいろいろ経験しないと駄目ですね。自分の頭だけで考えても律動感が伝わってこないものです。この入院中に自殺を図るも窓から溝に落ち、警官に保護される。不細工な話です。

11歳のとき六甲郊外学園で下宿生活をされ、堺中学の受験に失敗して小学生浪人されておられます。その次の年も受験に失敗しました。お父さんがそれではあかんということで奈良県立宇陀中学に入学。そのときにいじめにあわれたということです。ほとんど三重県の境ですね。この時は下宿されたらしいですけど、大阪からかなり遠いんですね。同志社に入られて20歳のときに徴兵で満州。野戦病院に入院してソ連の侵攻とともに命からがら日本に帰つてきて同志社復学、それから卒業して日本勸業証券、それから本人の処女作といいますか、週刊朝日に投稿した『北満病棟記』が入賞します。29歳の時、ポリオ

にて中之島の回生病院に3年間入院、退院後はドヤ生活。トランプ占い、キャバレーの宣伝員。秀子さんと結婚、これが彼の人生に一番よかったですね。その年に『背徳のメス』で直木賞を受賞しています。それから再度発病しというのは2ヶ月くらいのことで軽かったということです。『天の川の太陽』で吉川英治文学賞受賞。1983年に苦樂園に移られて20年間、その間に震災も経験されています。活断層が庭に走っていて庭が2つに割れたと書かれていますけど。ちょうど79歳、男の寿命でお亡くなりになっています。

本人の著書『生きてきた道』より引用しますと、場所としましては黒川古文化研究所のあたりだったというので、非常に特徴的な夫婦岩とおぼけ屋敷があったそうです。これが六甲郊外学園の全景。木造の校舎ですから冬は寒かったみたいですね。生駒山系があって金剛山地があって、あそこの場所からこの辺が見えるということらしいです。

そここのところに黒岩さんは居を構えました。黒岩重吾は、自分の育った、生活したところが見えるということで購入されたらしいです。西宮にはものすごくいい印象を持たれている。手塚治虫とはえらい違いですね。手塚治虫は西宮に憎しみしかなかったんでしょうね。

黒岩さんのジャンルは3つあります。最初は自分の体験ですね。戦争とか闘病。私が好きなのは『北満病棟記』。昔の軍隊の中の病棟ですけど、実は同じような話が、阪大でも学用患者とって、私が入ったときにはなくなっていたんですが、地下の一室にタダで入院させてあげる代わりに研修医の採血の練習台になれというのがありました。それと同じようなことが書いてあります。時代背景からすると、そういうこともあったという話です。非常に感銘を受けたというか、ああそうだったんやな、と身にしみています。これは処女作で直木賞を取る前ですので、小児麻痺になる前です。病気になって隣のベッドの兵隊の崩れていく人間心理、希望のなさを表現したいと思って書きました、自分の体験を冷静な目で描いています。私は全部読みましたけど、やっぱり自分の体験を文章にしたのは文章力が違いますね。ひしひしと迫ってきます。『我が炎死なず』はポリオの時の闘病記録です。非常に面白いです。

『人間の宿舎』は、兵隊になる前、同志社で勉学して、あるとき英語の先生が日本の神話の話をしたということ的印象的に書いています。『裸の背徳者』は、ソ満国境より脱走兵として日本へ帰りたいという、半分はフィクションなんですけど、主人公黒木は脱走兵として死んだということになっています。『カオスの星屑』の黒木は、復員してきて闇屋になって生活をしていく、これが三部作で面白いです。

医学知識は豊富です。私らが見ても納得できる知識は持ってはりました。私は講演をするにあたって、社会派のサスペンス『背徳のメス』を初めて読みました。自分の体験に基づかない架空の話なので、私はあんまりコメントする立場でないのですが、作者は次のように語っています。

『私は社会派推進推理作家と言われている。謎の意味をトリックや犯人当てに限らず社会の謎、人間の謎を推理的に追及していくのが推理小説の役割ならば、私は自分の作品に

社会派推理小説という言葉を与えたい』

今の二時間サスペンスのようにトリックはどうというより、一つのツールとして社会を表したいという彼の生き方です。TVドラマ『雲の階段』、面白いですよ。医療ミスとか医療過誤、学閥、養子による病院の存続・・・今から観られても面白いです。

それから、黒岩重吾といえば古代小説です。古代小説がなかったら黒岩重吾の名前もこれほど長いこと残らなかったと思います。私の学生の頃の人気作家といえば梶山季之ですか。川上宗薫も人気作家でした。黒岩重吾も人気作家ですけど、突然、古代史小説作家に転身しまして、今はこれが黒岩さんのバックボーンになっていますね。その陰で奥さまの内助の功があるんです。

「漏刻」というのは水時計のことですね。水時計の模型が発見されて、一緒に見に行こうと行かれたそうです。黒岩さんは結婚してから奥さんと共に車の免許を取っています。奥さんのほうがよく運転されて、奈良の方へ連れていったみたいです。

『天の川の太陽』で吉川英治賞の文学賞を受賞されます。『天の川の太陽』は分厚くて長いので、読んでいません。またそのうちに読みたいと思いますけど。

松本清張も古代小説は書いています。『陸行水行』は邪馬台国、『火の路』は日本にペルシャ人が来たのと違うかという話ですが、やっぱり古代史文学の第一人者は黒岩重吾です。戦前は日本書紀は批判されず、戦後はそんなものインチキじゃないかという意見が強かったんですけども、日本書紀は実際書かれている内容が朝鮮半島の歴史と合っているということで、もう一度見直されるきっかけとなりました。雄略記に書いてあるのですが、百済の方でも王さまが出て来て、生まれた年と合うのではないかということです。

黒岩さんがなぜ古代史に入ったかという、宇陀中学に入って、その辺の環境で古代の方に興味がいったからです。『天の川の太陽』の最初のところに白浜温泉のことが書いてあります。黒岩重吾は白浜温泉が好きだったんですね。

神戸のことを書いたのに、神戸より横浜が好きだと言っています。

4月5日から5月1日まで中央図書館で黒岩重吾展があります。約500冊を寄贈していただきました。黒岩さんは最初、神奈川近代文学館に大部分を納められたと記憶していたんですが、まだ500冊ほど家にあっただんですね。黒岩重吾全集も3冊も出ています。とにかく多筆な人で、長編だけで200余り書いておられます。

黒岩さんは、あまり西宮を舞台して書かれたことがないんです。苦楽園・甲陽園と地名だけは出ているんですけど。ネットミュージアムの「兵庫文学館」が撮影されたものです。これが書斎、机の上、原稿、本棚、大阪平野…

「いじめられた被害者が教師に相談することが少ないようである。仮に相談してもよい結果は生まれない」。黒岩重吾の言葉です。宇陀中学でいじめられていたみたいですね。香取慎吾と杏の『幽かな彼女』を見られたことありますか？ ちょうど、このことやっていたでしょ。いじめられっ子が先生役の香取慎吾に相談したら、先生がいじめっ子に対して「気をつけてあげて」と言ったので余計にいじめられて。その教え子が教師になろうとしてい

て「私はあんな先生になりたくない」と言われて先生が謝りに行くという設定なんですけどね。確かに真意をついています。

手塚治虫がおそらくピロリ菌による胃がんで亡くなったと説明しましたが、医者の見地からピロリ菌について実体験を踏まえながら、参考までにご説明いたします。

手塚治虫は60歳で亡くなります。ピロリ菌って名前、みなさんご存知ですね。ピロリ菌は胃潰瘍、胃炎あるいは胃がんの基になるんです。血液検査でピロリ菌保険を使って2、3千円であるかどうか検査してくれます。除菌のためには1週間薬を飲んで物凄く除菌をしていれば胃潰瘍・十二指腸潰瘍・胃がんとかを予防できます。受けてない方はぜひ受けてください。

私のピロリ菌経験は、実際の話です。一昨年9月24日、朝10時頃診察中に意識混濁、目の前が、カラーが白黒画面に変わってフェイドアウトしてしまい、思わずベットに倒れ込みました。当日の血液検査、赤血球、ヘモグロビンなど2分の1なんです。その前から身体はしんどかったんですけどね。何故、気づかなかつたかというと、シャワレット、文明の力のおかげで、なかなか便の色が分からないというのがあるんです。生霊に取りつかれたような感じ。身体を動かそうと思っても動かない。源氏物語の「夕顔」で六条御息所にとり殺されるという、ちょうどそんな感じで、紫式部はこれを表現していたのかなと思ったぐらいです。

十二指腸潰瘍があります。これは再発らしいです。ピロリ菌検査をしたら陽性でした。除菌をして、いま半年に1回胃カメラをのんでいます。ピロリ菌除菌は、禁煙とかと同じぐらい癌に対して大事な検査ですから、ぜひ皆さん受けてください。日本は先進国と比べて異常に高いんです。幼児期にピロリ菌が口から入れば、住みつくんです。時間が経てば、だんだんとピロリ菌を除菌したら、胃がんの発生率が少なくなる。証明されていないんですけど、お母さん、お爺ちゃんお婆ちゃんにピロリ菌があれば、離乳食の時に噛んであげているのが悪いんじゃないかと思います。お孫さんにあげる前にはご自身のピロリ菌検査をぜひ受けてください。胃の調子が悪い、何か心配事でもと思いますけれど、ピロリ菌が関与している場合が多いです。ピロリ菌を退治したら食欲が出てきたということもあります。

もうひとつご紹介したいのが私の保険証です。結婚したときにアイバンクに登録しました。大阪アイバンクに、私が死んだときにはすぐ連絡せよ、また保険証に延命治療を拒否しますと書き入れました。これは法的にどういう有効性があるかは分かりませんが、自筆で書いて日にちを入れれば、とにかく保険証に書いておけば皆見ますので。私の父親が1985年に亡くなりまして、それから十数年して父親の書斎を見ると安楽死嘆願書みたいなのが出てきた。自分が植物人間になったら静かに逝かせてほしいと十数年たって出てきました。それくらい私らは保険証に書いておいた方が一つの意思の表示かと思います。

すこし余談になりましたが、本日は手塚治虫と黒岩重吾をはじめ幅広くご紹介をさせていただきます。これでこの講演会を終わらせてもらいます。ご清聴ありがとうございました。

した。